



営業部内の結束力とコミュニケーション向上を目的に、4年前から毎年開催している「営業合宿」をご紹介します。あくまで仕事の一貫です。小旅行ではありません(笑)。ここは念を押しておきます。あしからず…。営業メンバーが写っているこの写真は、千葉県某所でサバイバルゲーム体験をしたときの一枚。非日常空間の中、映画やゲームの主人公になった気分を味わう事が出来ました。日頃の業務とはまた違い、各メンバーの知られざる

個性や動きに新鮮さを感じ、とても有意義な時間を過ごせました。教官がアメリカ人なものの雰囲気を感じ上げていました。男たちはこの後、美味しいお酒を飲み焼肉を食べ、夜の街に消えていったのは言うまでもありません。企業内での運動会やレクリエーションが少なくなりました。昨今、このようなイベントを企画するのも良いかもしれません。

TOPIX

相鐵のフオワード。営業部合宿をご紹介



【相鐵新聞】No.003-2016
2016年4月発行
編集長 丸藤 秀則
相鐵株式会社
〒316-0004 茨城県日立市東多額町5-19-10
編集部 Tel:0294-33-2005
Fax:0294-33-2632
URL www.soutetsu.jp

SOUTETSU PAPER

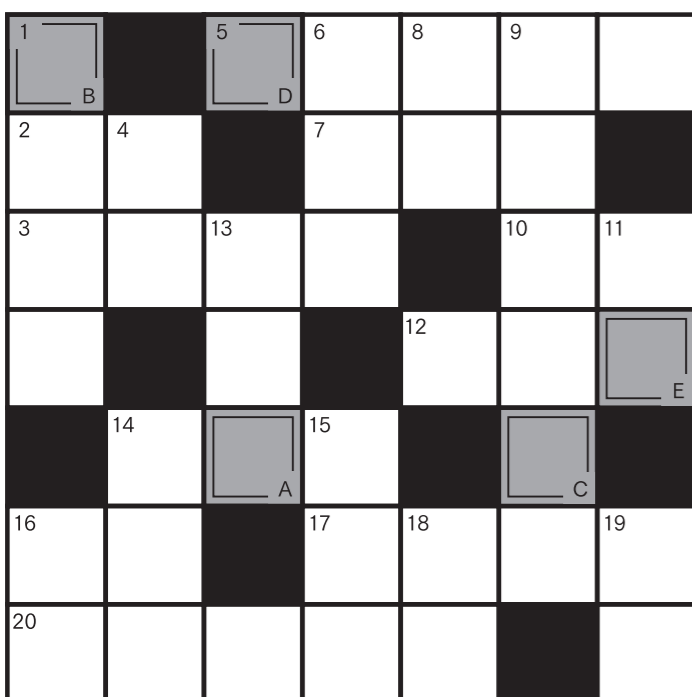
2016 03

「問い続けるから、前進できる」。むかい風を歩くあなたに相鐵新聞



懸賞鐵クロスワードパズル

正解者の中から抽選で絶品笹巻きご飯を5名様にプレゼント！ LET'S TRY！



ヨコのヒント

- ② お腹から大きな〇〇を出す
- ③ 道や場所がわからない人を導くこと
- ⑤ 新年のあいさつ！〇〇〇〇おめでとうございます
- ⑦ 健康診断の結果の〇〇〇〇が来る
- ⑩ 今年はたくさんの〇〇〇が訪れますように
- ⑫ 初夢は〇〇〇〇にうなされた
- ⑭ 大きなアウトレットで有名な市町村名
千葉県にあるよ
- ⑯ 〇〇配りのアルバイトを始める
- ⑰ 1988年に公開された
アーノルド・シュワルツェネーガー主演の
コメディ映画のタイトルは？
- ⑳ お正月に飾るよ！おいしいそうで食べたくなっちゃう！

茨城県銘豚肉ロースポークと上質なもち米を風味豊かな笹でロール巻き！



日立が誇る名店「三春」の笹巻きご飯

タテのヒント

- ① お正月の遊びといったらコレ！
- ④ 今年こそはいい出合いが
ありますよ！
- ⑥ 今年こそは貯蓄の神社へ行こう
- ⑧ 今年こそは花粉がたくさん〇〇〇〇
- ⑨ お正月よく目にする
七人の神様といえは？
- ⑪ 新しい相方と〇〇〇〇
- ⑬ おせちの定番！紅白の〇〇〇〇
- ⑮ 歳をとるとだんだん増えてくるよ
- ⑰ A I W a y s は日本語で？
- ⑱ 悪い出を〇〇〇〇
- ⑳ ああ人は周り〇〇〇〇

解答欄

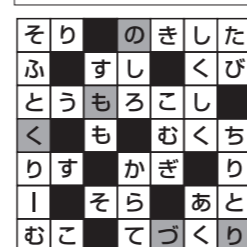
	A	B	C	D	E
--	---	---	---	---	---

A~Eに当てはめて言葉完成させよう!!
ご応募は左記方法にて受け付けてます。

応募締切日

4/29(金)

前号の答え ものづくり



解答は住所、電話番号、お名前をご記入の上こちらまでお願いします。(担当・平山)
MAIL sayuri.hirayama@soutetsu.jp (24時間受付) FAX 0294-33-2632 (24時間受付)
TEL 0294-33-2005 (午前8:00~午後5:00 土日・祝日を除く)

ちょっとひと息 編集後記

編集長の丸藤です。今号も無事に完成しました相鐵新聞。協力してもらった皆さんのおかげです。本当に感謝です。オフレコなんですけど、本日は年初に発行する予定でした。それがこの春先まで伸びてしまった原因は・・・、私がサボってしまったからです(汗)。本日にスイマセン。本号P3に名古屋展示会レポートがありました。ここ最近、他県・県南・県西のお客様の所へ訪問する機会が多々あります。色々な方とお話しするのはとても刺激になります。そんな考え方もある

んだなあ、みたいな。私個人も、県西の方へ訪問した際、「相鐵さんって聞いたことない」と良く言われます。そんな時、この相鐵新聞の必要性を感じます。会社のパンフレットも勿論ですが、そこにチョイ足して相鐵新聞をお渡しできれば、PR効果は抜群だと思っています。すぐにお取引に結び付かなくても「日立に相鐵あり」と頭の片隅にでも残ってくればと思っています。重要はPRツールとして、次号も皆さんのお手に届くよう頑張ります！

相鐵魂の継承。「ことば」で語り、「しごと」で魅せる。

「技術の継承」。製造業において、大手・中堅を問わず常に課題となる問題である。現場のベテランから若手へのバトンがスムーズに渡るには、製造業全体の10%程度とのアンケート結果もあるほどだ。相鐵、相鐵にもこの問題は存在する。年齢でみれば新

聞のベテランと若手の混合チーム。バンドソーでの形鋼・ハイブ鋼の切取をメインとする第6スタジアムがそれである。ベテランの背中を追いながら汗を流す若手も、叱咤激励し若手を鼓舞するベテラン。今回の特集は、これまで相鐵を支えてきた男が想う、これから相鐵を支えていく若手への「伝えたいこと」を語ってもらった。

1週間限定

バンドソー切断 5%割引

※対象期間4/18(月)~4/22(金)内のご注文に限ります。
※詳しくはホームページをご覧ください。



渡辺茂は相鐵最年長の67歳。第6スタジアムでバンドソーを操作し、後進の指導にもあたっている。17年前、異業種から転職してきた。当時を振り返り、苦労話を聞いた。「全くの素人だったのに、教えてくれる人がいないだからね。携帯電話なんてない時代、機械のエンジニアに電話して、メモを書いて、機械に戻って操作する。その繰り返しだった。会社に入って一番苦労したことだね」と笑いながら話してくれた。一人前になれたと感じたのは、2,3年が過ぎた頃。一通りの作業、操作が自分のリズムで行える様になったのだという。昨今では考えられない状況だが、それでも自分を信じ歩みを止めなかった。

「苦労は沢山した。でも、それ以上に“楽しさ”や“やりがい”が大きかったね。失うものがないんだもん。それ以上マイナスにはならないでしょ。目の前の仕事に一所懸命だった。それだけのことだよ」今となっては笑い話だと語ってくれた。これが13年間、1人でバンドソーを守ってきた男である。

バンドソー専用の工場として第6スタジアムが完成したのが4年前。そこへ、2名の新卒者が仲間に加わった。「後輩って感覚はないよ(笑)。孫よりも年が離れるんだから。怒ったり、注意したりはあまりしない様にしている」その理由を聞くと、「孫を怒ってるみたいで、可哀想になるからね」という。「たしかに、“もっとこうしたら”と思うときもある。けれど、彼らも自分なりに考えて成長していると思うよ」毎日一緒に空間で働いていると感じづらいが、5年後の姿を想像すると楽しみだという。巣立つ小鳥を見守る親鳥の心境だろうか。

「今は日々感謝しかない。この歳まで働かせてもらって、贅沢だね」今日も朝8時から夕方5時までの間、若手の先陣を切って動く渡辺の姿があった。一日でも長く、この相鐵で働いてほしいと心から思える人である。

仕事とは、苦労の先に必ず何かがある。だから今日も前に進む。



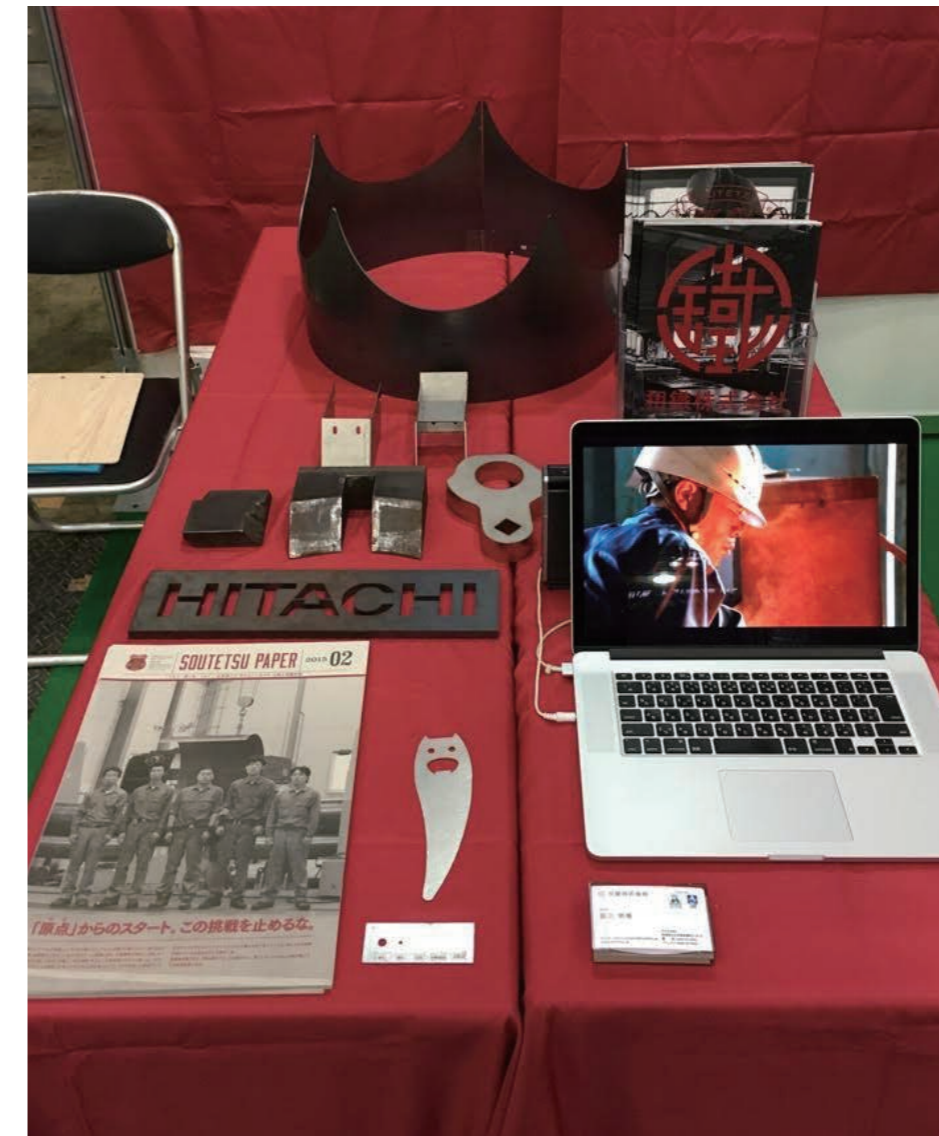
第6スタジアムの長、渡辺に聞いた

面川明美が行く！名古屋展示会レポート

お客様と直接ふれあい感じ得た、「課題」と「可能性」

こんにちは。総務部の面川です。私は、昨年の11月4日から7日まで愛知県名古屋市で行われた「メッセナゴヤ2015」に参加しました。「メッセナゴヤ」とは様々な業種の方が日本

国内に限らず、海外からも参加されている展示会です。とても広い会場で、企業の方だけではなく一般の方も来場されており4日間での来場者数は



63,802名と沢山の方がいらしてました。そこに私達は製造業として出展しました。主に、レーザー切断品、ガス切断品、バンダー曲げ製品、一昨年の夏に導入したロール曲げの製品を展示し、企業の方だけではなく一般の方等、沢山の方々に弊社をアピールできました。展示スペース、運べる製品に限られていたので「100%の相鐵」をアピールするのはとても難しく、それでも沢山の方々が足を止めて説明を聞いて頂けた事がとても嬉しかったです。また、50周年の記念に作成したムービーも流し弊社の鉄のリレー(相鐵の仕事の流れ方)も見て頂きました。まだご覧になられた事のない方は、弊社HPより是非ご覧ください。

この4日間弊社のアピールだけではなく、同業種の企業様が開催されていたセミナーへの参加、他企業の製品や展示の仕方など様々な事を勉強してきました。他企業、一般の方など色々なお客様とお話をする機会を頂けて、「こういった製品はできますか?」「こういった物も展示した方がいいのでは」等、製品だけでなく展示の仕方へのアドバイスも沢山頂きました。製品や機械に対する質問に関しては、まだまだわからないことばかりでしたので知識を身につける事と、自社製品がより一層魅力的に見える展示の仕方が次回の展示会に向けての私の目標です。



氏名(年齢) ①自己紹介 ②趣味 ③休日の過ごし方 ④自分が成長したところ ⑤今後の抱負など



渡辺 茂 (67)
製造部 第6スタジアム
バンドソー担当

①相鐵最年長です②特にない③たまに遊びに来る孫と遊ぶこと④今日も当たり前のように仕事が出来ること⑤まだまだ現役で頑張ります



佐藤 将斗 (21)
製造部 第6スタジアム
バンドソー担当

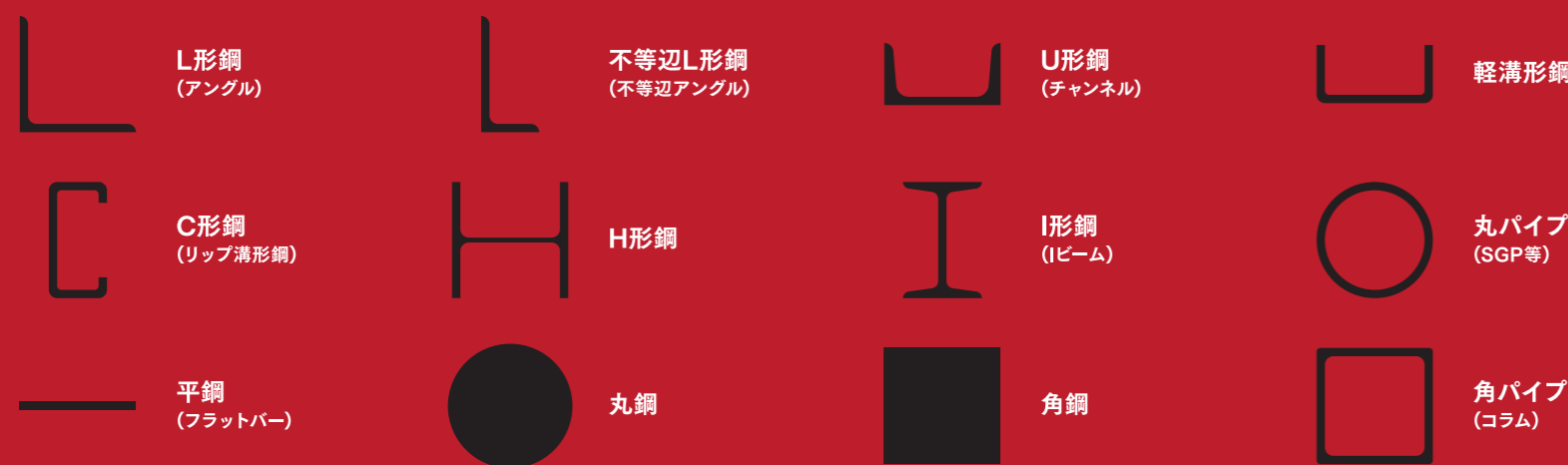
①いつも元気な男の子です②バスケット&卓球③夕方に犬の散歩をし、夜は悪友と遊びます④仕事の段取りが早くなった⑥先輩に負けぬよう、“できる”男になりたい



青木 零也 (19)
製造部 第6スタジアム
バンドソー担当

①髪型が坊主なので、いつも触られています②格闘技&ギター③読書(漫画ですけど...)やゲームをします④自分の持ち場の“5S”を意識出来るようになったこと⑤作業スピードを上げたいです

第6スタジアム在庫一覧表



各種形鋼取り揃えております。サイズ・長さのご指示通り、切断致します。定尺での販売も可能です。お気軽にご相談ください。

社長 × インタビュー Vol.3

ヨットマン 安藤政孝社長が“海”と“若き思い出”を語る

実に素晴らしい経験の持ち主である。若い頃から“海”“ヨット”に興味を持ち、自らの力で大海原を舞台に活躍してきた。社名でもわかる様に、ヨットやマリネ関係全般を手掛けている企業である。大洗に程近い、茨城町に工場を構える。本号では、株式会社ヨットマン 代表取締役安藤政孝社長へのインタビューをお届けする。

中学生の時、すでに“海の男”になることを決意。国家試験である無線通信士の資格を取得し、大海原へと漕ぎ出す準備を着々と整えていた。1980年代、ヨットに乗るために電車でゆられ湘南へ行く日々。ヨット好きが高じて、当時の県知事やその関係者に働きかけ「那珂湊マリナー」を自ら立ち上げたほどだ。1990年代には、世界最古のスポーツロフイーとして広く認知されている“アメリカズカップ”予選に出場した経験をもつ。本物のヨットマンである。ヨットを日本へ輸入する際には、世界中の港へ足を運んだという。「あの頃は楽しかったね。ドイツ・フランス・アメリカ。他にも

色々な国を回ったよ」そう話してくれた顔には笑みがこぼれていた。日本各地の港に寄港した時などは、仲間とともに給料袋片手に朝まで飲み歩いてたとか。男だったら一度は経験してみたいと思える、スケールが大きく憧れる話ばかりが印象に残った。

「ヒトのやらない事をする。ヒトのやれない事をする」これはヨットマンの企業理念。その真意を聞いた。「ヨットで海に出ると航海士は自分しかいない。頼れるのは自分だけ。ケガをすれば治療し、破れたものがあれば裁縫もしくちゃならない。そんな状況を何度も経験してきたからこそ、自らの力で前へ進んでいく想いを込めたのかも知れない。「従業員募集中です。外注先も探しておりますので、是非宜しくお願いします(笑)」とのこと。興味がある方は、安藤社長が航海士を勧める“株式会社ヨットマン”号に乗ってみては如何でしょうか。

